

大阪府立大学現代GP研究会報告資料
茨木市におけるスクールソーシャルワークのモデル実践について

1. 茨木市におけるスクールソーシャルワークの位置づけ

「豊かな学び総合推進モデル校」実施

(1) 趣旨

児童・生徒に「確かな学力」を育成するため、授業づくりや個に応じた指導の充実を図り、家庭・保護者への支援を積極的に進める学校の取組を支援するとともに、その成果を市内小・中学校に普及することを目的とする。

「茨木っ子プラン22」 (資料1・2・3)

(2) 実施機関

平成19年4月～平成20年3月(1年間)

(3) 実施校

市内小学校 2校 ・ 市内中学校 1校

(4) 内容 (資料4)

① 支援方法

ア 学びサポートチームの派遣

学校での個に応じた指導を推進し、家庭保護者への支援をすすめる。

■専門支援員(教員OB等)

■スクールソーシャルワーカー

■学習支援者(大学生)

イ 授業づくり推進交付金の交付

ウ 豊かな学び総合推進モデル校連絡会の開催

エ 豊かな学び総合推進報告会の開催

② 学校の取組

オ 学びサポートルームの設置

エ 研究授業の積極的な実施

カ 生活・意識調査の実施

(5) 学びサポートチームの派遣回数

■専門支援員(小学校対象)

5時間/日×105日(週3回程度)

■SSW(中学校対象)

5時間/日×35日(週1回程度)

■学習支援者(小・中学校対象)

市教育委員会と協議の上決定

2. 茨木市配置校でのSSWの役割

(1) 組織体制

(2) 家庭支援の実践

(3) 地域調整の実践 (資料5・6)

① 茨木市健康福祉セーフティネットワーク(いきいきネット)

●茨木市地域福祉計画(平成18年3月策定)

「認め合い・支え合い・みんなで描く地域福祉のまちづくり」
の実現をめざして

●コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

市内に14箇所ある「いきいきネット相談支援センター」に設置

●地域内にあるコミュニティソーシャルワーク事業

◇ 高齢者セーフティネットワーク会議(月1回)



CSW委員会

連絡実務者会議



◇ 子育て支援ネットワーク会議(2ヶ月に1回)

② 校区内小学校との連携

●専門支援員

●小学校教員

3. 大阪府「サポートチーム」およびSSWスーパーバイザーとのコラボ

① 実践例

●大阪府「サポートチーム」の役割

●大阪府SSWのスーパーバイザーの役割

●茨木市SSWの役割

② 今後の可能性